

2021年4月16日  
株式会社日立製作所

## 「Innovation Challenge for Circular Economy | Startup Challenge」を開催し、 スタートアップ企業3社の事業アイデアを採択

株式会社日立製作所(以下、日立)水・環境ビジネスユニットは、日立 コーポレートベンチャリング室、ならびにグローバルなオープンイノベーションプラットフォームを提供する Agorize Japan 株式会社(本社: 東京都渋谷区、代表取締役カンントリーマネージャー: 中澤 亮太)と連携し、スタートアップ企業からの事業アイデアを募集する「Innovation Challenge for Circular Economy | Startup Challenge」を開催しました。

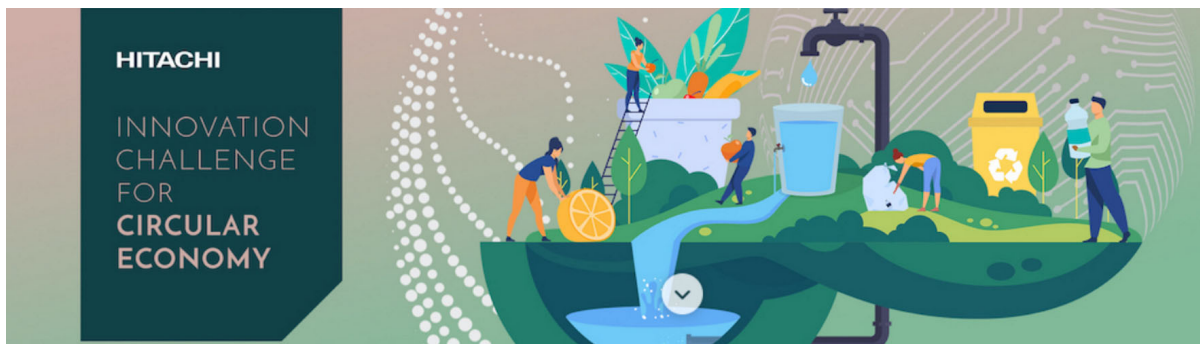
具体的には、「世界中のスタートアップとの協創により、次世代のためのより良い未来をつくる」というコンセプトのもと、下記3つのテーマをもとに協創パートナー企業の募集を行いました。

- 無駄な社会をゼロにする
- 東南アジアの食品廃棄物削減
- 水資源の持続可能性の確保

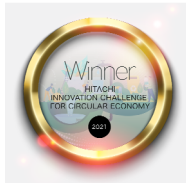
そして、応募総数 107 社(44 か国)に対して、一次審査を通過した 26 社についてメンタリングを実施し、さらに二次審査を通過した 8 社には最終審査会でプレゼンを実施いただき、幹部審査のもとスタートアップ企業3社の事業アイデアを採択しました。

今後、日立 水・環境ビジネスユニットは、本スタートアップ3社と連携し、日立の事業とのシナジーの具体化を進めていきます。


日立 水・環境ビジネスユニットは、今後も社会課題解決に向けた“共感”をベースに仲間を創り、エコシステム型資源循環インフラの実現をめざしていきます。




■「Innovation Challenge for Circular Economy | Startup Challenge」で採択されたスタートアップ企業(3社)

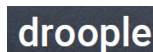
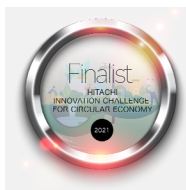


社名	Lanza Tech 
URL	<a href="https://www.lanzatech.com/">https://www.lanzatech.com/</a>
提案内容	バイオガス発酵技術により、廃棄物から燃料、化学素材等を製造し、商業化に成功。

社名	WASE 
URL	<a href="https://wase.co.uk/">https://wase.co.uk/</a>
提案内容	嫌気性消化槽より高効率な電解メタン細菌反応層(EMR)を用いた、コンテナ型食品廃棄物の資源化(エネルギー化)設備を開発。

社名	WILDFIRE 
URL	<a href="https://www.wildfireenergy.com.au/">https://www.wildfireenergy.com.au/</a>
提案内容	Moving Oxidant Injection という特徴技術を用いて、固体廃棄物から、エネルギー及び水素を製造する技術/設備を開発。

■(参考)「Innovation Challenge for Circular Economy | Startup Challenge」ファイナリストのスタートアップ企業(他5社)



以上